政界人脈

ＡＳＥＡＮ各国の農相：プロフィール
「フードバリューチェーン」構築を目指す

「第36回東南アジア諸国連合(ASEAN)農林大臣会合(36th AMAF)」と「第14回ASEAN＋3(日中韓)農林大臣会合(14th AMAF+3)」、および関連実務者会合が9月20～26日、ミャンマーの首都ネピドーで開かれた。「+3会合」などに出席した日本の西川公也農林水産大臣は、既存の「ASEAN＋3緊急米備蓄(APTERR)」および「ASEAN食料安全保障情報システム(AFSIS)」などを通じた、ASEAN地域の農業発展と食料安全保障の強化に一層貢献していくとの日本政府の方針を説明。その上で新たに、食産業における高品質・健康・安全などの日本の「強み」を生かして、生産から加工、流通、消費に至る「フードバリューチェーン(FVC)」の構築をASEAN地域でも官民連携で推進していくことを表明した。FVC構築への日本の取り組みに対するASEAN側からの支持と期待は各会合の共同声明に明記された。日本のこれら対ASEAN農業施策の具体化における(西川大臣の)各国カウンターパートを紹介する。

《ミャンマー》

■農業・灌漑相 Minister for Agriculture and Irrigation
ミン・フライン U Myint Hlaing

今回の会合(第36回AMAF・第14回AMAF+3)の議長。会合期間中に、日本の企業・団体(14社)とJICA、JETROの代表も出席して開かれた「日ミャンマー農林水産業・食料協力対話第1回ハイレベル会合」では、西川大臣とともに共同議長を務め、ミャンマーにおけるFVC構築に向けた具体的な方策の検討を開始するとの合意を取りまとめた。

＊退役陸軍中将(軍人出身の現職閣僚では最高位の階級)。2011年3月の現職就任までは、国防省内の要職とされる防空局長を4年間務めた。

▼データ：【年齢】61歳(1953年8月13日生まれ)【生地】マンダレー管区モーゴウ郡【人種】ビルマ族【宗教】上座部仏教【学歴】［1975年］国軍士官学校(DSA)卒(理学士：第17期生)/国防大学修士(軍事学)/［95年］(中国・南京)中国人民解放軍参謀課程修了【軍歴】元陸軍中将【経歴】［1975年］少尉に任官/陸軍各部隊で要職を歴任/第16作戦司令部(シャン州テインニー)司令官/［2001年］北東軍管区(シャン州ラーショー)司令官(少将)兼シャン州(北部)平和発展評議会(PDC)議長/［2006年5月］国防省防空局長(中将)/［10年8月］国軍退役、［11月総選挙］国民代表院(下院)議員に当選(ネピドー連邦直轄地デキナティリ選挙区：連邦団結発展党〔USDP〕)/［2011年3月］(テイン・セイン政権)農業・灌漑相(一現在)【家族】キン・タン・シン(Khin Thant Sin)夫人との間に1男1女。

《タ　イ》

■農業・協同組合相 Minister of Agriculture and Cooperatives
ピティポン・プンブン・ナ・アユタヤー
Petipong Pungbun Na Ayudhya

9月4日に発足したプラユット暫定内閣で現職(農業・協同組合相)に起用された。農業・協同組合、天然資源・環境の2つの省の事務次官を歴任した元エリート官僚。生物多様性をベースにした経済開発に長年取り組んでおり、その分野では国際的にも名前が知られている。今回の会合(36th AMAF)は大臣の立場での国際会議デビューといえる。

＊現職就任にあたって、ゴム価格下落対策、エビ輸出促進、違法漁取締り、干ばつ対策、協同組合直営店の経営立て直しなどに尽力することを表明。

▼データ：【年齢】61歳【学歴】(タイ)法学士(LL.B)/(米)理学士(BSc：経済学)/(米)行政修士(MPA：開発学)【経歴】国家経済社会開発委員会(NESDB)チェンマイ事務所北部タイ経済社会開発室長/農業・協同組合省農地改革局長/同省監察総監/同省農業経済局長/同省事務次官/首相府資産計上局長/天然資源・環境省事務次官/［2014年9月4日］(プラユット暫定内閣)農業・協同組合相(一現在)【歴任】［2007年］生物多様性経済開発庁長官(一14年)/首相府法制委員会委員/チュラロンコーン大学、タマサート大学などの客員教官。

《マレーシア》

■農業・農業関連産業相 Minister of Agriculture and Agro-based Industry
イスマイル・サブリ・ヤコブ Dato'Sri Ismail Sabri bin Yaakob

昨年5月の第2次ナジブ内閣発足時に国内商業・消費者行政相から現職に横滑り。2004年に下院議員に初当選(現在3期目)した与党「統一マレー国民組織(UMNO)」の中堅政治家だが、昨年10月に実施されたUMNO最高評議員選挙(定数25)では第4位で当選するほどの実力者である。ナジブ首相とは同郷(パハン州)。

▼データ：【政党】UMNO：最高評議員【年齢】54歳(1960年1月18日生まれ)【生地】パハン州テメルロー【人種】マレー人【宗教】イスラム教【学歴】［1984年］マラヤ大学卒(法学士：LL.B)/［85年］弁護士資格取得【経歴】弁護士/［1995年］文化芸術・観光相政務秘書官/［2004年3月総選挙］下院議員に初当選/［08年3月］(アブドゥラ改造内閣)青年スポーツ相/［09年4月］(第1次ナジブ内閣)国内商業・消費者行政相/［13年5月総選挙］下院議員に再選(3期目：パハン州ブラ選挙区)、［5月16日］(第2次ナジブ内閣)農業・農業関連産業相(一現在)【家族】ムハイニ・ザイナル(Datin Sri Muhaini Zainal Abidin)夫人。

《シンガポール》

■国家開発・国防担当国務相
Minister of State for National Development & Defence
モハマド・マリキ・オスマン(博士) Dr.Mohamad Maliki Bin Osman

シンガポールの農業行政は、国家開発省所管の「シンガポール農産物・家畜庁(AVA)」が司っており、同庁を担当する同(マリキ・オスマン)氏が上級政務官(国家開発/国防担当)時代からAMAFにシンガポール代表として出席してきた。

＊昨年9月の内閣改造で上級政務官(国家開発/国防担当)から現職に昇格。マレー人の中堅政治家でサウスイースト地区長(mayor)を兼任。元シンガポール国立大学(NUS)助教授。

▼データ：【政党】人民行動党(PAP)：本部執行委員【年齢】49歳

(1965年7月19日生まれ)【人種】マレー人【宗教】イスラム教【学歴】シンガポール国立大学(NUS)卒(文学士)/同大学理学修士/(米)イリノイ大学博士(社会事業)【経歴】イリノイ大学助教/NUS助教授/［2001年］国会議員に初当選/［2004年］政務官(社会開発・青年スポーツ/保健担当)/［05年］政務官(社会開発/青年スポーツ/国家開発担当)/［06年］政務官(国家開発担当)/［2010年11月］上級政務官(国家開発担当)/［2011年5月総選挙］国会議員に3選(イーストコースト集団選挙区)、上級政務官(国家開発/国防担当)、サウスイースト地区社会開発協議会(CDC)議長(地区長)兼任(一現在)/［13年9月1日］(リー・シェンロン内閣改造)国務相(国家開発/国防担当)(一現在)【趣味】バドミントン、水泳【家族】既婚。子供2人。

《ブルネイ》

■産業・一次資源相 Minister of Industry and Primary Resources

ペヒン・ヤヒヤ Pehin Dato Yahya

ブルネイの産業•一次資源省傘下には(工業や観光業関連などの部局•機関とともに)農業•農産物局、漁業局、林業局があり、同(ペヒン•ヤヒヤ)氏が「農業担当大臣」としてAMAFのブルネイ代表を務めている。

＊ボルキア国王の「補佐官」から首相府事務次官、エネルギー相を経て2008年から現職。

▼データ：【年齢】60歳(1954年5月4日生まれ)【宗教】イスラム教【学歴】(英)文学士(経済学)/(米)文学修士(国際法・外交)/(シンガポール)教育学学位【経歴】教育省職員/外務省事務官/［1987年］外務省アセアン局副局長/［89年］同省経済局長/［90年］(モハメド・ボルキア)外務大臣秘書官/［92年］(ハサナル・ボルキア)国王執務室上級行政官/［97年］首相府事務次官/［2005年5月］(首相府付き)エネルギー相/［08年8月］産業・一次資源相(一現在)【家族】ノルリナ(Norlina binti Dato Abu Bakar)夫人との間に2男3女。

《インドネシア》

■農相 Minister of Agriculture

ススウォノ Suswono

任期は、(ユドヨノ現政権の任期が終わり)ジョコ・ウィドド新政権が誕生する10月20日まで。今回の会合(36th AMAF)が農相としての最後の国際会議出席となった。

＊ジョコ次期大統領は年間予算の約5分の1を占める燃料補助金を見直し、農業や漁業などの生産活動に振り替える考えを示しており、新しい政策を任される新農相の人選が注目される。

▼データ：【政党】福祉正義党(PKS)：副幹事長【年齢】55歳(1959年4月20日生まれ)【生地】中ジャワ州トゥガル【人種】ジャワ人【宗教】イスラム教【学歴】ボゴール農業大学(IPB)卒/同大学修士(農業経営学)【経歴】(ボゴール)高校教師/IPB講師/(ボゴール)イブヌ・カルドゥン大学講師/［1999年］林業相顧問(一2001年)/［2004年］国会(DPR)議員、DPR第4委員会(食糧・農業・林業・水産・海洋)副委員長/［09年10月］(第2期ユドヨノ政権)農相/［09年10月22日］(ユドヨノ改造内閣)留任(一現在)【歴任】インドネシア・イスラム学生協会(PII)中央委員/インドネシア学生同盟(HMI)中央委員【家族】ミエケ(Mieke Wahyuni)夫人との間に4子。

《フィリピン》

■農相 Secretary of Agriculture

プロセソ・アルカラ Proceso Jaraza Alcala

2010年6月のアキノ現政権発足時に自由党(LP)の同志であるアキノ大統領によって現職(農相)に抜擢された。フィリピンにおける「有機農業の父」の異名をとり、「有機農業法(2010年)」制定に尽力したことでも知られる。農相としては、「アグリ・ピノイ(Agri-Pinoy)」構想を策定し、持続可能で国際競争力がある農業・漁業セクターの確立を目指している。

▼データ：【愛称】プロシー(Procy)【政党】自由党(LP)【年齢】59歳(1955年7月2日生まれ)【生地】ケソン州ルセナ市【宗教】カトリック【学歴】(ルセナ市)マヌエル・エンベルガ大学卒(土木工学)【経歴】土木技術者/環境保護団体・非政府組織(NGO)指導者/［2004年］下院議員に初当選/［2007年］下院議員に再選(ケソン州2区：LP)/［10年6月30日］農相(一現在)【歴任】下院農業・食料委員会副委員長/下院公共事業・道路委員会副委員長【家族】コラソン(Corazon Asuncion Maano)夫人との間に1男2女。孫4人。長男のアーヴィン(Irvin)氏は現下院議員(ケソン州2区)。

《ベトナム》

■農業・地方開発相 Minister of Agriculture and Rural Development

カオ・ドゥック・ファット Cao Duc Phat

1990年前半に米ハーバード大学に留学した農政テクノクラート。アンザン省党委副書記を務めた短期間を除けば約30年にわたって農業行政の要職に携わってきた。

※毎回のAMAFには農業・地方開発省次官がベトナム代表になっており、今回(36th AMAF)はレ・クオック・ドアン(Le Quoc Doanh)次官が出席した。

▼データ：【政党】ベトナム共産党(CPV)：中央委員【年齢】58歳(1956年5月25日生まれ)【生地】(紅河デルタ)ナムディン省イーイェン県【学歴】(米)ハーバード大学(ケネディ行政大学院)行政学修士/ベラルーシ農業アカデミー経済学博士【経歴】［1982年］農業•食品工業省入省/農業工学研究所副所長などの要職を歴任/［95年］農業•地方開発省政策局長/同省計画局長/［99年］同省次官/［2003年］(メコンデルタ)アンザン省党委員会第一副書記/農業•地方開発相代行/［04年12月］農業•地方開発相/［2011年8月3日］(第13期内閣)農業•地方開発相に再任(一現在)【兼任】洪水暴風管理中央委員会(CCFSC)委員長【国会議員】2期目(第12/13期国会)。

《カンボジア》

■農林水産相 Minister of Agriculture, Forestry and Fisheries

ウック・ラブン Ouk Rabun

昨年9月の第4次フン・セン政権発足時に首相府相から現職(農林水産相)に異動。

▼データ：【政党】カンボジア人民党(CPP)：常任委員【年齢】63歳(1951年1月27日生まれ)【生地】スヴァーイリアン州【学歴】［1972年］教員養成学校卒/［89年］(ベトナム)国家経済大学卒/同修士/同博士(経済学)【経歴】［72年］教員(物理学•化学)/［81年］(ヘン•サムリン政権)計画省総合計画局長/［86年］計画省次官/［90年］商業省次官/［93年］(カンボジア王国成立)国会財政•金融委員長/［98年］経済財務省長官/［2004年］経済財務省長官(再任)/［08年9月］(第3次フン•セン政権)首相府相/［13年9月24日］(第4次フン•セン政権)農林水産相(一現在)【家族】既婚。子供3人。

《ラオス》

■農林相 Minister of Agriculture and Forestry

ウィライワン・ポンケー Vilayvanh Phomkhe

▼データ：【政党】ラオス人民革命党(LPRP)：中央委員【経歴】(南部)サワンナケート県知事/［2011年6月15日］(第2期チュンマリー政権)農林相(一現在)［既出データ］AMR(11/07/01)

(アジア・リンケージ　勝田 悟)